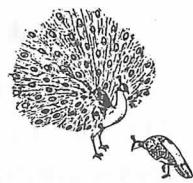


# NEWSLETTER



No. 3

日本動物行動学会事務局

## 日本動物行動学会 第3回大会案内

日本動物行動学会第3回大会は下記の要領で京都府立大学において開催されることになりました。会員の皆様にはふるってご参加下さいますよう、ご案内いたします。詳細は別冊（イエローページ）をご覧下さい。

日 時 : 1984年11月11日(日)～13日(火)

会 場 : 京都府立大学

発表形式 : ポスター発表、口頭発表、フィルムースライド・セッション、ラウンド・テーブル

## 目 次

第3回大会案内	1	学会誌原稿募集について	4
運営委員会議事録から	2	京都市内宿泊所案内	5
総会議事録から	2	会員の異動	6
会 計 報 告	3	第2回大会会計決算	6
国際動物行動学会議について	4	事務局から	6

## 別 冊 目 次

第3回大会案内	7	スライドの作り方	8
ポスター・セッションについて	8	参加申込書	9

## 第2回運営委員会議事録から

第2回運営委員会が1983年12月9日

(11:00~12:30)、京都大学理学部動物学教室動植物会議室において開かれ、下記諸事項に関する討議が行われた。

出席者：日高敏隆（会長）、伊藤嘉昭（副会長）

今福道夫（事務局長）、川道武男、

小原嘉明、城田安幸、杉山幸丸、

（会計報告：藤井恒）

欠席者：朝日稔、伊谷純一郎、西田利貞。

### 1. 諸報告

事務局会計藤井恒より会員数、会計、第1回大会決算についての報告が行われた。(P3 参照)

### 2. 選挙について

会長、運営委員の選挙を2回に分けずに1回で行う（総会議事録参照）。

### 3. 別刷代について

現行のものは他誌に比べて価格が著く異なるので、事務局で調査・検討し、案を作る。

### 4. 次期大会について

京都で行う。ポスター発表と並行して口頭発表も含める。

### 5. I E C 委員について

1985年、フランス、トゥールーズで開催される第19回国際動物学会議 ( International Ethological Conference ) の委員を日高敏隆、伊藤嘉昭とする。（関連記事P.4）

[今福]

## 第2回総会議事録から

第2回総会が1983年12月10日、京都大学理学部大講義室において、第2回大会会期中に行われた。議長：安部琢哉。運営委員代表：

日高敏隆。

### 1. 諸報告

学会事務局、石井実（庶務）、藤井恒（会計）より会員数、会計の現況他の報告があった。

### 2. 会計の承認

藤井恒氏より報告のあった1982-1983年度会計について承認がなされた。

### 3. 会則、選挙規定の改訂

運営委員会より提出された案に一部変更を加え、下記の形で承認された。<sup>1)</sup>

**選挙規定**〔昭和57年12月9日採択〕  
〔昭和58年12月10日改訂〕

第1条 会長および運営委員選挙は、選挙管理委員会が管理して行う。

第2条 選挙管理委員長には副会長があたり、若干名の委員を指名する。

第3条 選挙を行う年度までの会費を、その年の6月30日までに納入した会員が、選挙権、被選挙権を有する。

第4条 会長選挙は単記無記名投票、運営委員選挙は10名連記無記名投票により、任期満了まで行う。

第5条 得票数が同じ場合は、年少者を当選とする。

第6条 会長が運営委員としても当選した場合は、運営委員の当選を無効とし、運営委員次点者を繰上げ当選とする。

第7条 当選者に任期中事故があった場合は、次点者が残りの任期を引き継ぐ。

<sup>1)</sup> 改訂がなされたのは第4条以下である。旧選挙規定第4条以下は次のとおり。

第4条 会長選挙は単記無記名投票により、開票は9月末日までに行う。

第5条 運営委員選挙は10名連記無記名投票により、開票は11月末日までに行う。

第5条 得票数が同じ場合は、年少者を当選とする。

第6条 当選者に任期中事故があった場合は、次点者が残りの任期を引き継ぐ。

[石井]

## 1982-3年度 会計報告(決算案)

### ◎収入

1983年度会費 <sup>1)</sup>	2,540,000円
学会誌 Vol. 1. 別刷代	119,800円
郵便貯金利子	25,515円
銀行預金利子	18円
<b>計</b>	<b>2,685,333円</b>

### 1) 会費収入内分け

国内一般会員	1,815,000円 (5,000×363)
学生会員	669,000円 (3,000×223)
団体会員	(8,000×5) 40,000円
海外一般会員	(8,000×2) 16,000円

◎支出 事務費 <sup>2)</sup>	54,384円
通信費 <sup>3)</sup>	505,380円
印刷費 <sup>4)</sup>	1,381,390円
会議費 <sup>2)</sup>	4,799円
<b>計</b>	<b>1,945,953円</b>

### 2) Newsletter No.1の会計報告で雑費 (4,849円)としたものは次のように各 々事務費、会議費に繰入れました。

事務費(郵便振替口座開設料) 50円  
会議費(世話人会お茶菓子代) 4,799円

### 3) 通信費内分け

電話代	25,290円
郵送料	480,090円
学会誌	133,170円
(含Newsletter No. 2)	
学会誌 別刷	18,440円
準備会ニュースNo.3	25,040円
Newsletter No.1	58,370円
入会案内	42,950円
大会案内(含ハガキ)	23,280円
選挙ハガキ	18,440円
その他(事務・編集)	160,400円

### 4) 印刷費内分け

学会誌	760,500円
" 別刷	101,300円
Newsletter No.1	80,520円
" No.2	87,220円
準備会ニュースNo.3	52,650円
趣意書	4,900円
入会案内	21,200円
選挙関係	72,120円
封筒	99,500円
ハガキ	38,920円

発表要旨原稿用紙	7,630円
コピー	54,930円

◎差引残高	739,380円
-------	----------

1982-3年度の学会の会計状況は以上のようになっておりますが、この他に大会の参加費等が学会事務局の口座に振込まれた17,000円、また大会用のスタンプ台の立替分3,500円があります。いずれも大会会計へ現金で返却あるいは返却を受けておりますので、表から省かせて頂きました。

1982-3年度の学会会計は表の通り739,380円の黒字となっており、これはそのまま1984年度会計へ繰越されます。しかし、1984年度は学会誌も2回発行されることになっておりますし、学術刊行物の扱いをまだ受けることができませんので、送料等の負担もかなり増えることが予想されます。学会費は前納制となっておりますが、1984年度分の会費納入状況は決して良いとは言えない状態です。会費を遅納されると、そのまま学会会計に影響が及ぼしますので、まだ会費を納入されていない方は至急納入下さいますようお願い致します。会費未納の場合は学会誌をお送りできませんので宜しく御協力下さい。

尚、1984年度分会費未納の方には封筒に「会費未納」のスタンプを押しましたが、入れちがいに御納入の場合はお許し下さい。また、コンピューターで処理しておりますので入力ミス等もあるかと存じます。御不審の点がございましたら、学会事務局まで至急御連絡下さい。  
〔藤井〕

タイトルのイラストは、クジャクの求愛ディスプレイである。求愛するとき、オスは巨大な尾羽をひろげて数歩あとずさりし、くちばしを地面の方へ向ける。すると、メスが走り寄って来て、その扇のような尾羽の"焦点"にあたるあたりをつつく。しかし、そこにはエサなどは存在しない。オスクジャクのこのような求愛ディスプレイは、メスを食事に誘う行動が儀式化したものと考えられている(I)。

~~~~~ 第 19 回 国際動物行動学会議 ~~~~  
 (19 I. E. C)について

去年のブリスベーン(オーストラリア)に続いて、次回の国際動物行動学会議(19 th International Ethological Conference)は、1985年8月24日～9月2日にわたり、フランスのトゥールーズ(Toulouse)で開かれます。First Circularとプログラム案は別紙(挿入ページ)のとおりです。プログラム内容は、だいぶ生理、心理にかたむいている感じです。

今度は初めてのオープンな会合なので、準備委員会側は大まかの出席者数を知りたがっています。日本からは、おそらく30人以上出席するだろうということはすでに先方に伝えてありますが、出席してみようと思われる方は、別紙 Reply form に記入の上 "ETHOLOGIE 85" のアドレス宛各自送って下さい。今後の Circular を送ってくるはずです。

なお、現在国際動物行動学委員会(International Ethological Committee)の日本委員は、伊藤嘉昭と日高敏隆です。

Journal of Ethology の原稿募集

日本動物行動学会誌 Journal of Ethology は1988年11月に第1巻(合併号)を発行し、現在は第2巻1号の印刷を進めております(本年8月発行予定)。第2巻第2号(12月発行予定)も準備に入っています。

国際誌をめざす Journal of Ethology は、海外におけるサーチュレーションをよくするため、すでに発行された第1巻をサンプルとして、運営委員・編集委員を通じて海外の著名な研究者に送りました。その結果、ドイツの Max - Planck Institut や Zeitschrift für Tierpsychologie の Editor、米国の Chicago 動物学会、Harvard 大学、California 大学、Hawaii 大学、Lawrence 大学などから問い合わせ、あるいはすでに予約購読の申し込みも来ております。また事務局では海外会員をふやすため、国際行動学会の出席者や各国の行動学会会員などに入会案内を送る準備を着々と進めています。

このような状況の中で雑誌を定期的に発行することは、まさに国際誌としての地位を確立するのに欠かすことのできないものです。学会誌の原稿は、そのほとんどが会員の皆様からの原稿によるものです。定期的に雑誌を出すために会員の皆様の協力がぜひ必要です。

原稿の内容は、すでに発行された第1巻を御覧になればおおよそその見当がつくと思います。動物の行動に関するもので、野外における調査を主としたもの、実験的アプローチによるもの、数理解析的なもの、また特にユニークなアイデアをもり込んだものなどもおねいして歓迎いたします。

皆様の興味深い研究成果の発表の場としての Journal of Ethology の論文投稿をお待ちしております。毎巻6月と12月に発行の予定なので、〆切のめどは原則としてそのほか6, 7ヶ月前となります。原稿を書くにあたり投稿規定(雑誌の表紙3)を参照して下さい。なお、原図は論文が受理されるまで保管しておいて下さい。原稿の宛先は、京都市左京区北白川追分町京都大学理学部動物学教室日高敏隆です。

[日高・今福]

## 京都市内宿泊所案内

第3回大会が開かれる11月中旬は、京都の紅葉が美しい季節です。紅葉見物の観光客のため、ホテルや旅館が混雑することが予想されます。大会に参加される方は、早目に宿泊所を確保して下さい。参考までに、当方の独断と偏見によりいくつか適当なホテルと共に組合関係宿舎をあげておきますので参考にして下さい。料金は各自お確かめ下さい。

### ビジネスホテル(順不同)

| 宿泊所         | 住所          | TEL<br>075- |
|-------------|-------------|-------------|
| 京都プリンスホテル   | 左京区下鴨松原町    | 781-4141    |
| 京都パレスサイドホテル | 上京区烏丸下立売上ル  | 431-8171    |
| ホテルフジタ      | 中京区二条大橋西詰   | 222-1511    |
| 京都ガーデンホテル   | 中京区室町御池南    | 255-2000    |
| ホテル本能寺会館    | 中京区河原町御池西   | 231-3123    |
| 京都ホテル       | 中京区河原町御池    | 211-5111    |
| 烏丸京都ホテル     | 下京区烏丸四条     | 371-0111    |
| 京都ロイヤルホテル   | 中京区河原町三条上ル  | 223-1234    |
| 京都レディースホテル  | 東山区下河原八坂鳥居前 | 561-3181    |
| 嵐山レディースホテル  | 右京区嵐山       | 882-0955    |
| 京都旅行会館      | 下京区烏丸四条下ル   | 211-6101    |
| 京都イン加茂川     | 北区鞍馬口寺町東入ル  | 256-2681    |
| ホテルリバーサイド   | 北区北山橋東詰     | 701-5111    |
| 京都トラベラーズイン  | 左京区岡崎円勝寺町   | 771-0225    |
| 京都ビジネスホテル   | 中京区木屋町御池    | 222-1220    |
| サンホテル京都     | 中京区河原町三条下ル  | 241-3351    |
| 東山三条イン      | 東山区三条花見小路   | 751-8090    |

### 共済組合関係宿泊所

| 宿泊所            | 住所                       | TEL<br>075- |
|----------------|--------------------------|-------------|
| くに荘 T 602      | 京都市上京区河原町荒神口上ル東入ル東桜町27の3 | 222-0092    |
| 平安寮 T 602      | 京都市上京区烏丸通長者町上ル籠前町598の1   | 451-0811    |
| 京都堀川会館 T 602   | 京都市上京区東堀川通下長者町下ル7        | 432-6161    |
| 共済会館 T 602     | 京都市上京区葭屋町通一条上ル明町8-19-3   | 441-8188    |
| 御車会館 T 602     | 京都市上京区河原町今出川南入一筋目東入      | 211-5626~8  |
| 平安房 T 605      | 京都市東山区正面茶屋町531           | 561-8666    |
| 加茂川荘 T 604     | 京都市中京区富小路通り夷川上ル          | 231-3754    |
| 洛陽荘 T 606      | 京都市左京区岡崎法勝寺町77           | 771-5634    |
| 花のいえ T 616     | 京都市右京区嵯峨天竜寺角倉町9          | 861-1545    |
| 京都農林年金会館 T 603 | 京都市北区衣笠北天神森町21           | 462-7745~9  |

## 新入会員

|                     |                    |        |
|---------------------|--------------------|--------|
| 松尾 貴司               | 山田 恒夫              | 山室 一樹  |
| 榎元 敏也               | 宮尾 美穂              | 鈴木 寛   |
| 岩井 洋一               | 佐久間正幸              | 加藤 真   |
| 金山 行孝               | 中井 克樹              | 宮竹 貴久  |
| 足立 裕弘               | 小林 秀司              | 小谷 達雄  |
| 高松 覚                | 吉田 敦也              | 瀬戸口美恵子 |
| 中道 正之               | 西尾 香苗              | 蟻川謙太郎  |
| 林 康行                | 伊藤 明               | 在津 誠   |
| 米田 重玄               | 押田 龍夫              | 屋富祖昌子  |
| 吉村 仁                | 宮田 保               | 吉田 和久  |
| 長田 英己               | 国生 文雄              | 伊藤 博美  |
| 林 幸範                | 広川 美子              | 山野井昭雄  |
| 湊 和雄                | 金井塚 務              | 松井 正文  |
| 黒鳥 英俊               | 山口 純               | 古市 剛史  |
| 小松 清弘               | 片野 修               | 安藤 元一  |
| 両角 太郎               | 沢田 孝二              | 上島 完   |
| 沢田 昌人               | 西村 文男              | 吾妻 直記  |
| 細馬 宏通               | 疋田 努               | 西平 守孝  |
| Max-Planck Institut | 藤岡 知夫              |        |
| 淀 京太郎               | Chicago Zoological |        |
| Society             | 日高 輝展              |        |

## 退 会

|              |       |
|--------------|-------|
| 栗林慧自然科学写真研究所 | 唐沢 孝一 |
| 藤井佐紀子        | 清水 敏弘 |
|              | 岡田 愛子 |

第2回大会決算 大会参加者 290名（うち  
当日参加 148名）

設立大会からの繰越金 77,812円

|     |                                 |
|-----|---------------------------------|
| 収 入 | 大会参加費 (1,500×290) 435,000円      |
|     | 大会賛助金(平凡社) 20,000円              |
|     | 寄付(ニュー・ヘルス社) 5,000円             |
|     | 懇親会費(一般)<br>(3,500×99) 346,500円 |
|     | 懇親会費(学生)<br>(3,000×43) 129,000円 |
|     | 懇親会費遅納金 (500×37) 18,500円        |
|     | 講演要旨集(500×61) 31,000円           |
|     | 銀行預金利息 585円                     |
| 計   | 1,063,397円                      |
| 支 出 |                                 |
|     | 事務費 27,135円                     |
|     | 通信費 79,410円                     |
|     | 印刷費(プログラム、<br>講演要旨集等) 214,370円  |
|     | 会場費 35,205円                     |
|     | 懇親会費 348,000円                   |
|     | ポスター会場飲料費 186,685円              |
|     | (ティーパーティー費を含む)                  |
| 計   | 890,805円                        |
|     | 差引残高(学会の会計にまわす) 172,592円        |

第2回大会は290名が参加し、そのうち当日参加者は148名であった。参加者は昨年の第1回大会よりも、37名少なかった程度で規模としてはほとんど同じであった。収入は以上のとおりで一般的の懇親会費が500円値上げされ、当日参加者への講演要旨集代が新たに加わったほかは、第1回とほぼ同じであった。支出は懇親会費が昨年より16万円ほど安くついたかわりにポスター会場での飲料費ティーパーティー代が10万円ほど多くかかった。その他会場費が6万円ほど安くついたほかは、昨年に比べ大差なかった。差引残高171,007円は学会の運営に使われることになった。

〔第2回大会会計：岡野英幸〕



# ETHOLOGIE 85



**19 th  
international  
ethological  
conference**

**Adresse Postale :**  
UNIVERSITÉ PAUL SABATIER  
Département de  
**BIOLOGIE DU COMPORTEMENT**  
118, route de Narbonne  
31062 Toulouse CEDEX  
FRANCE  
Tél. (61) 55.30.01  
Telex UNIPSAB 521880 F

24 août - 2 septembre 1985

université p.sabatier - toulouse - france

La 19ème Conférence Internationale d'Ethologie est ouverte à tous les éthologistes qualifiés et aux autres chercheurs du domaine des Sciences du Comportement.

Elle se tiendra à Toulouse [France] du 24 août au 2 septembre 1985, sous le patronage scientifique de la Société Française pour l'Etude du Comportement Animal [S.F.E.C.A.].

## ORGANISATION SCIENTIFIQUE

Neuf journées de travail effectif sont prévues [une journée d'interruption pourra être consacrée à des activités touristiques].

1] Conformément à une tradition qui a fait ses preuves, chaque journée de travail comprendra une Séance Plénière, consacrée à un thème éthologique d'intérêt général [soit de par son actualité, soit du fait de la confrontation de travaux menés suivant des approches plus théoriques ou plus factuelles, ou à des niveaux d'intégration différents].

Le choix des thèmes, comme celui des rapporteurs pressentis, fait actuellement l'objet d'une concertation entre le comité d'organisation, la S.E.F.C.A. et le Comité International d'Ethologie.

2] Nous avons prévu un nouveau mode d'organisation des séances de communications **orales** et **affichées** : celles-ci — ainsi que des **discussions en table ronde** — seront regroupées autour de différents sous thèmes, prolongeant les sujets retenus pour les séances plénieress. Une discussion générale commune de 2 heures, confiées à un

L'appel à contributions, sous ces différentes formes, sera lancé dans la 2ème circulaire [Mai 1984] laquelle

3] Des conférences d'intérêt général seront demandées à des personnalités scientifiques éminentes.

4] Des séances de **présentation de films** sont également prévues au cours de certaines soirées.

LEUIL DE LA CONFÉRENCE

**LIEU DE LA CONFÉRENCE**  
Capitale de la Région "Midi-Pyrénées", Toulouse est la 4ème ville de France par sa population [plus de 500.000 habitants]. Durant la période de la Conférence, elle jouit ordinairement d'un climat chaud, parfois tempéré par les influences océaniques.

Toulouse compte trois universités : l'une à dominante juridique, une autre consacrée aux sciences humaines et sociales, la troisième aux sciences de la nature et aux disciplines de la santé.- C'est sur le Campus de cette dernière - l'Université Paul Sabatier - que se dérouleront toutes les activités scientifiques de la Conférence Internationale d'Ethologie.- Situé à 7 Km du centre de la ville et bien desservi par plusieurs lignes d'autobus, ce campus est très vaste et offre d'importantes possibilités d'hébergement en cités universitaires [chambres individuelles, douches à l'étage]. Des ressources hôtelières très suffisantes existent également soit en ville, soit à 2-3 Km du campus. Les repas de midi pourront être pris sur place.

Les tarifs prévisionnels des différentes possibilités d'hébergement seront mentionnés dans la deuxième circulaire. Y seront précisées aussi les activités sociales et touristiques envisagées. D'ores et déjà une gamme d'excursions est prévue pour la journée de repos. D'autres circuits touristiques pourront être organisés avant le début de la Conférence ou après sa clôture : vers la cité médiévale de Carcassonne, la ville d'Albi et son musée Toulouse-Lautrec, les Pyrénées, la Camarque etc ... ou dans d'autres régions de France.

#### **RECOMMANDATIONS IMPORTANTES**

- RECOMMANDATIONS IMPORTANTES**

  - Vous venez de recevoir une invitation à prendre part à la 19ème Conférence Internationale d'Ethologie.
  - Veuillez vous assurer dès à présent que tous vos collègues intéressés ont bien reçu ce document. Ceux qui ne sont pas membres d'une Société d'éthologie doivent demander individuellement une invitation au Secrétaire de leur société nationale ou, à défaut, à l'adresse suivante :

"ETHIOLOGIE 85"

Département de Biologie du Comportement

118 route de Narbonne [4B3]

18 Toute de Nature [4]  
E 31062 Toulouse Cadet

- Comme il s'agit de la première Conférence **ouverte** organisée en Europe, nous ne pouvons faire encore que des estimations très approximatives quant au nombre des participants. Vous nous aiderez donc grandement en nous renvoyant le BULLETIN DE REPONSE ci-joint, manifestant votre intention de participation, **avant la date-limite du 30 avril 1984**.

## "ETHOLOGY-85"

The 19th International Ethological Conference is open to any qualified ethologist, as well as to other scientists in the field of behavioural studies.

This meeting will be held in Toulouse [France], from August 24th to September 2nd 1985, with the scientific support of the French Society for the Study of Animal Behaviour [S.F.E.C.A.].

### SCIENTIFIC ORGANIZATION

The scientific activities will be distributed over 9 days (one-day will be kept free for rest and sightseeing).

**1]** Following the established tradition, each day will include a **Plenary Session**, assigned to the study of a well-defined ethological problem of general interest.

The choice of the nine topics to be discussed, and the designation of the invited speakers for the main presentations is at present under discussion by the Organization Committee, the Council of the S.F.E.C.A. and the International Ethological Committee.

During the Plenary Sessions, a large part of the available time will be reserved for discussion.

**2]** We are using a new system for the presentation of **contributed verbal and poster papers** : they and **round table discussions** will be grouped according to "sub-themes" arising from the plenary sessions. This will enable the members to develop further the topics covered by the main lectures.

The second circular (May 1984) will call for contributed papers and give a programme structure into which they should fit.

**3]** Two or three **evening-lectures** will be delivered by prominent experts in ethology or related fields.

**4]** **Film sessions** will be arranged for some evenings. There will also be every opportunity for members to set up further formal or informal round-table discussions.

### CONFERENCE LOCATION

**Toulouse** is the main city of the Region "Midi-Pyrénées", and the fourth large city in France (with more than half a million inhabitants). Summer is usually hot, though sometimes tempered by weather from the Atlantic.

There are three universities in Toulouse : Toulouse-1 covers economics and law, Toulouse-2 covers the humanities and social sciences. Toulouse-3 (University Paul Sabatier) deals mainly with physical and natural sciences (including ethology), and also the medical sciences. All scientific activities of the International Ethological Conference will take place **on the campus of Toulouse-3**. This is located 7 Km from the city-center to which connected by several bus lines. Extensive accommodation is available on the campus itself (single bedrooms, shared shower-bathrooms). There is also a wide range of hotel accommodation either in the city, or in close by (2-3 Km). Lunch facilities will be available on the campus itself.

A first estimation of the costs accommodation will be given in the second circular, as well as some details about social activities and touring. A range of excursions is planned for the one-day break in the Conference. Other tours can also be organized either **before** or **after** the Conference : e.g. to the mediaeval city of Carcassonne, the city of Albi and its famous Toulouse-Lautrec Gallery, the Camargue, the Pyrénées... or to any other region of the country.

### IMPORTANT ADVICE

- You have just received an invitation to attend the 19th International Ethological Conference.
- Please, make sure now that all your colleagues have also received this invitation. People who are not members of ethological societies should write individually for their invitation either to the Secretary of their national society or to the following address :

"ETHOLOGIE-85"

Département de Biologie du Comportement,  
118 route de Narbonne [4R3],  
F-31062 Toulouse Cedex.

- As this is the first **open** Conference organized in Europe, we are only able to make a rough estimate of the number of persons who will attend. Therefore we are anxious to know your own plans.



### BULLETIN DE REPONSE

- Nom et prénom :
- Qualité :
- Adresse professionnelle complète :

### REPLY FORM

- Name and first name :
- Qualifications :
- Complete professional address :

{  J'ai l'intention de participer à la 19ème Conférence Internationale d'Ethologie      {  I intend to attend the 19th International Conference of Ethology

{  Je n'ai pas l'intention de participer à la 19ème Conférence Internationale d'Ethologie      {  I do not intend to attend the 19th International Conference of Ethology

- Nombre de **membres associés** qui ont l'intention de m'accompagner :

- Number of **Associate Members** planning to come with me :

{  Je souhaite prendre part à un voyage touristique organisé en France      {  I am interested in a tour organized in France

{  Je ne souhaite pas prendre part à un voyage touristique organisé en France      {  I am not interested      {  before the Conference

{  avant la Conférence      {  après la Conférence

{  before the Conference

- Remarques et suggestions éventuelles :

- Further suggestions or remarks ?

Please, reply before April 30th 1984.

A renvoyer avant le 30/04/1984.

## PROGRAMME

### SEANCE PLENIERE I

- La formation de l'expérience individuelle  
Individual experience, ontogeny and behaviour
- A Genetique  
Genetics
  - B Ontogenèse et phylogenèse  
Ontogeny and phylogeny
  - C Expérience prénatale  
Prenatal experience
  - D Processus d'acquisition  
Learning and development
  - E Mecanismes ontogénétiques : approches éthologiques et psychologiques  
Mechanisms of ontogeny : ethological and psychological approaches

### SEANCE PLENIERE II

- Comportement et dynamique des populations  
Behaviour and the dynamics of populations
- A Differences interindividuelles  
Differences between individuals
  - B Structure des groupes  
Structure of groups
  - C Comportement et niche écologique  
Behaviour and processus of ecological adaptations

### SEANCE PLENIERE III

- Individu et société  
The individual and the society
- A Division des rôles  
Roles
  - B Communication  
Communication
  - C Expérience individuelle et groupes sociaux  
Individual experience and the social group
  - D Phylogenèse des sociétés animales  
The phylogeny of animal societies

### SEANCE PLENIERE IV

- Ethologie et psychologie humaines  
Ethology an human psychology
- A La vie quotidienne  
Every day life
  - B Le développement de l'enfant  
Child development
  - C Relations homme-machine  
Interrelationships within man-machine systems
  - D Etholinguistique  
Verbal and non verbal communications
  - E Ethologie et Sciences Sociales  
Ethology and the Social Sciences

### SEANCE PLENIERE V

- Oscillateurs biologiques et rythmes comportementaux  
Biological oscillators and behavioral rhythms
- A Mecanismes fondamentaux des oscillateurs biologiques  
Fundamental mechanisms of biological oscillators
  - B Modulations éco-éthologiques des rythmes biologiques  
Environmental and behavioral modifications
  - C Rythmes physiologiques et rythmes comportementaux  
Physiological rhythms and behavioral rhythms

### SEANCE PLENIERE VI

- Mise en jeu des programmes moteurs de comportements  
Control of the motor programs of behaviour
- A Neurochimie  
Neurochemical mechanisms
  - B Neurophysiologie  
Neurophysiological mechanisms
  - C Endocrinologie  
Endocrinological mechanisms
  - D Interface sensori-motrice  
Sensori-motor integration

### SEANCE PLENIERE VII

- Ethologie quantitative et modèles de comportement  
Quantitative ethology an models of behaviour
- A Problèmes du recueil et du traitement des données éthologiques  
Problems in the collection and analysis of ethological data
  - B L'utilisation des modèles en éthologie  
Modeling in ethology

### SEANCE PLENIERE VIII

- Les applications de l'éthologie : bilans et perspectives  
The applications of ethology

- A Comportement et gestion de l'environnement  
Behaviour and wild life management
- B Applications de l'éthologie aux productions animales  
Ethology and animal productions

### SEANCE PLENIERE IX

- Y-a-t-il des théories éthologiques ?  
Le statut de la discipline

- Are there theories in ethology?  
The status of the field

### SEANCES DE COMMUNICATIONS INDEPENDANTES DES SEANCES PLENIERES

- X Orientation dans l'espace  
Space orientation

- Y Aspects cognitifs du comportement animal  
Animal awareness